

つるみの風

つるみの風 第43号
2020年12月12日発行
鶴見聖契キリスト教会
〒230-0074 横浜市
鶴見区北寺尾 1-16-7
TEL 045-572-0857

天からの贈り物

天文ひとくちメモ番外編

牧師も走る師走となりまし
た。先行きの見えないコロナ禍
の中、皆さまいかがお過ごし
でしょうか。昨年この時期は、
まだコロナの字もなかつた
ので、今の危機的状況と重苦
しい空気が、医療体制や経済状態
の逼迫がまるで悪夢のよう
です。終息したあかつきには、「二
〇二〇年はたいへんだったね」
と語り合うようになるのでし
ようが、渦中ではその実感も希
望も持ちにくいですね。ああ、
やめたやめた、暗さを塗りし
ても仕方ありませんから、ポジ
ティブ・シンキング。今回はお
許しをいただいて、筆者お得意の
天文ネタ三連発をお届けしま
す。もちろんクリスマスネタも
ありますよ。地上は地球規模で
こんな有様ですが、遙か天空は
いつもと何も変わらず物理法
則通りに天体が運行し、創造主
なる神の偉大さ、みわざの美し
さを伝えていきますから。

●帰ってきたぞ、はやぶさ2
この原稿をパソコン入力し
ているまさに今日の朝早く、日
本の小惑星探査機「はやぶさ
2」が地球に帰還しました。正
確には、はやぶさ2が持ち帰っ
た、小惑星リュウグウ岩石サン
プルの入り口の砂漠地帯に予定通
り着地したのです。たった今、
JAXAの会見をニュースで

見ました。感動を抑えきれない
プロジェクトマネージャーの、
プロジェクトを称して「玉手箱」と
いうことばに、二〇一四年一二
月三日に打ち上げて以来六年
にも及んだ緊張が緩む万感が
こもっていました。大気圏に突
入し、オーストラリアの夜空に
火の玉の光跡を残しながらぐ
んぐん進むカプセル帰還の映
像には、正直うろつとさせられ
ました。

す。飛行距離は百億km、一
年後に直径三〇mの小惑星へ
到着予定。その時まで生きてい
られるかな。

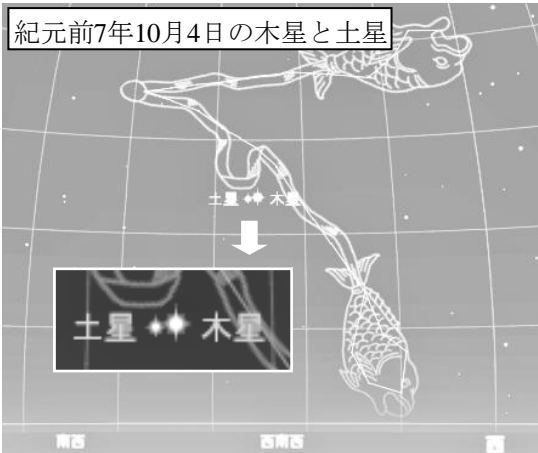
次は二〇年後の惑星会合

クリスマスにお届けする天
文ネタ第二弾は、木星と土星の
会合です。最近、日没後の西の
空に明るい星とやや暗い星が
すぐ近くに並んでいるのにお
気づきの方もおられるでしょ
う。明るい星は太陽系最大の惑
星、木星で、暗いほうは輪のあ
る土星です。木星は二二年で太
陽の周りを一周し、その外側を
公転する土星は三〇年かか
ります。二つの惑星が次に会合す
るのは計算上二〇年後。その時
まで自分が生きていくかどうか
かもわかりませんが、見逃せ
ません。先日の夕方、パンを買
いに出かけたら、馴染みの理髪
店店主が道路で夜空を見上げ
ています。「ほら、あれが木星
と土星ですよ」と得意げに教え
たら、ISS国際宇宙ステーション
が見えるはずだ、と言う。

今、夜空の天空高くオレンジ
色に輝く火星と、夕方の西空に
木星と並んで明るく見える木
星、その公転軌道間にベルト状
の小惑星帯があります。太陽系
創世の際、惑星になり損なつた
岩石のかけらの集合体。かけら
といつても最大の小惑星ケレ
スは直径千kmもあり、これだ
けは準惑星と呼ばれるほどで
す。小惑星探査は太陽系の成り
立ちや生命の起源を探る重要
な意味を持ち、二〇一八年六月
にははやぶさ2が着陸して岩石
のサンプルを採取したリュウ
グウには、炭素が多く含まれて
いるそうです。地球からの直線
距離で三億km、直径五百mの
そるばんの珠状の天体。いや
や、サンプルリターンとはたい
へんな技術ですね。

宇宙を知ることとは自分を
知ること、そして神の創造の
わざを知ることにつながります。
天からの贈り物、玉手箱の中身
を早く知りたいですね。ちな
みに、はやぶさ2本体は燃料が半
分以上残っているため、別の小
惑星探査に再出発したそうで

いと後悔しますよ。ちなみに、
少し前の一七日には、細い月も
加わって見事な光景になるは
ずです。



ベツレヘムの星

長らくお待ちしました。こ
こから第三弾クリスマスマス
集の本題、「ベツレヘムの星の
謎を解く」です。実は、ベツ
レヘムの星の正体として可能性
が高いのは、まさに今見えて
いるような木星と土星の会合な
のです。

ベツレヘムの星とは、クリス
マスツリーのてっぺんに必ず
飾る星の由来となる名称です
が、東方の博士たちを幼子イエ
スの居場所へ導いた不思議な
星のこと。聖書からその記事を
引用しましょう。

「イエスがヘロデ王の時代に、ユ
ダヤのベツレヘムでお生まれにな
ったとき、見よ、東の方から博士
たちがエルサレムにやって来て、
こう言った。「ユダヤ人の王とし
てお生まれになった方は、どこに
おられますか。私たちはその方
の星が昇るのを見たので、礼拝
するために来ました。」(マタイの
福音書二章一〜二節)。東の方
とは、ユダヤの地から見て東で
すから、古代オリエンツの文化

都市バビロンと考えるのが妥
当でしょう。博士(マジ)とは
占星術の学者のことです。
何千kmもの危険な旅をし
てまで、なぜ彼らはエルサレム
に来たのか。それは、特別な人
物が誕生したことを告げる特
別な星が出現するのを見たか
らです。ルカの福音書二章で、
野原の羊飼いたちが天使らの
お告げで、救い主キリストに会
うためベツレヘムの家畜小屋
に駆けつけたその思い、身分や
距離は全く異なっても、救い主
に会いたいとの熱い思いは共
通していたと言えましょう。博
士たちの思いは次のように記
されています。

「そこでヘロデは博士たちをひ
そかに呼んで、彼らから、星が現
れた時期について詳しく聞いた。
そして、「行って幼子について詳
しく調べ、見つけたら知らせても
らいたい。私も行って拝むから」
と言って、彼らをベツレヘムに送
り出した。博士たちは、王の言っ
たことを聞いて出て行った。する
と見よ、かつて昇るのを見たあ
の星が、彼らの先に立って進み、
ついに幼子のいるところまで来て、
その上にとどまった。その星を見
て、彼らはこの上もなく喜んだ。
それから家に入り、母マリアと
ともにいる幼子を見、ひれ伏し
て礼拝した。そして宝の箱を開
けて、黄金、乳香、没薬を贈り物
として献げた(七〜一一節)。

●東方の博士を導いた星は
問題は、このベツレヘムの星
の正体です。星が先導したとか
とどまったとか、不可解な点に
は目をつぶり、純粋な天文現象
として調べるとどうなるか。ま
ず年代を決定する手がかりは、
博士たちと対面したヘロデ王
です。彼はヘロデ大王と呼ばれ

る歴史上の人物で、紀元前四年
に死去しており、キリストを殺
そうとしてベツレヘムと近郊
の二歳以下の男の子を虐殺し
ましたから、引き算をすると、
紀元前七〜六年になります。こ
の頃、ルカ二章に記述があるロ
ーマ帝国の人口調査が行われ
たこともわかっています。

可能性が高いのは、惑星の会
合、つまり見かけ上の大接近で
す。計算によれば、紀元前七年
の五月、一〇月、一二月に三度
も、今話題の木星と土星の会合
が、うお座で起こったことがわ
かりました。わずか半年の間に、
木星と土星が次々と接近を繰
り返した、実はこの三連会合は
非常に稀な現象で、五百年の間
に四回しかありません。もちろ
ん確定は出来ませんが、二〇二
〇年の一二月、今このクリスマス
の季節に、誰でも夕方の西空
に見ることが出来る木星と土
星の大接近は、あの博士たちの
喜びの追体験かもしれないの
です。そう考えると、何だか今
年のクリスマスが、暗く重苦し
いだけではない、特別なものに
思えて来ませんか。

(裏面に続く)

<聖書を読む会>

- 開催日：原則第1、第3土曜日
変更になる月があります。
- 時間：午後2時〜4時
- 場所：寺尾地区センター他
- ※開催日と場所はHPでご確認ください。
- 問合せ先：045-901-9560 村田